

事業所名 小規模多機能居宅介護「笑楽日」・グループホーム「風楽里」

運営推進会議書面開催報告書

開催日時	令和4年12月18日	コロナ感染対策の為の書面開催
メール等でご協力頂いた委員の皆様		議 題
利用者	1人	活動状況報告
利用者家族（風楽里）	1人	
〃（笑楽日）	1人	
知見者	1人	
市職員	1人	
地域包括支援センター	2人	
地域住民の代表者	1人	
事務局	2人	

10月～12月の活動状況をご報告させて頂きました。

利用者家族様・・・スタッフの方々始め、利用者の方々とも仲良くして頂き、本人も大変楽しく過ごしている様子が、感謝しております。今後ともよろしく願います。

入居者様・・・みんなでしゃべったり、手伝いをしていると楽しい。

利用者様・・・調子が悪かったときはお世話になりました。

包括中央東・・・コロナ禍で色々制限がありますが、工夫して行事をされています。

また業務が忙しい中、職員の研修もされており、感心致します。

高齢福祉課・・・法人研修と、社内研修にて、ACP研修の機会があったかと思いますが

職員の方々の中で、改めて気づきを得たことがあれば教えて頂きたいです。

事務局・・・外出は少人数で、畑など、外気に触れ、季節を感じて頂けるように工夫しました。

法人研修のお題 ACP（アドバンス ケア プランニング）については事例や、自身に置き換えての、もしもの時に備えて、前もって考える、将来の医療やケアについて意思決定までのプロセスについて研修しました。参加者のレポートを拝見すると、普段の会話から本人の価値観や、思いをキャッチできる。キャッチするアンテナを磨く。毎日のかかわり方から考える。等、意見がありました。

公立陶生病院からも、入所時にACPを行い、心肺蘇生を希望しない患者さんは搬送は必要ないものと考えてほしいと要請が来ております。

新しいスタッフも増え、通常の研修をはじめ、身体拘束等適正化のための指針を、再度研修していく予定です。

2月の運営推進会議も日にちが決まりましたら、ご報告させていただきます。

報告者 伊丹

